

# 都道府県レベルでの総合型地域スポーツクラブへの支援体制の再構築①

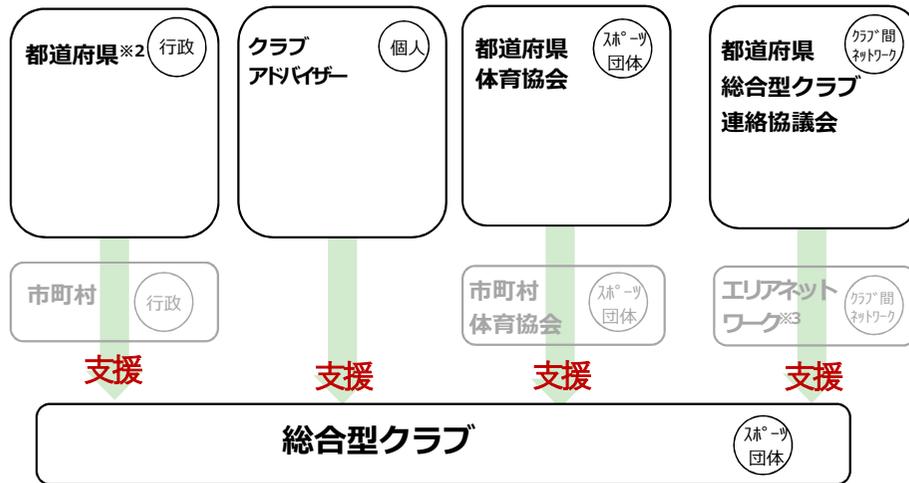
✓ 総合型クラブの創設・育成に関する支援等の広域スポーツセンターの機能について、現状では、地域の実情に応じて多様な主体が担っているが、総合型クラブに対する全国的な支援体制をより効率的・効果的なものにしていくため、各支援主体の役割分担を明確化して再構築等を図る。

## ● 現状

✓ 地域の実情に応じて、スポーツ関係組織・機関等が役割分担して、広域スポーツセンターの機能を担っている。

＜広域スポーツセンターの機能※1＞

- ① 総合型クラブの創設、育成に関する支援
- ② 総合型クラブのクラブマネジャー・指導者の育成に関する支援
- ③ 広域市町村圏におけるスポーツ情報の整備・提供
- ④ 広域市町村圏におけるスポーツ交流大会の開催
- ⑤ 広域市町村圏におけるトップレベルの競技者の育成に関する支援
- ⑥ 地域のスポーツ活動に対するスポーツ科学・医学・情報面からの支援



課題：多様な主体が総合型クラブへの支援に尽力しているが、役割分担や連携体制について十分に整理されてこなかったため、全体としてみると必ずしも効率的・効果的なものになっていない

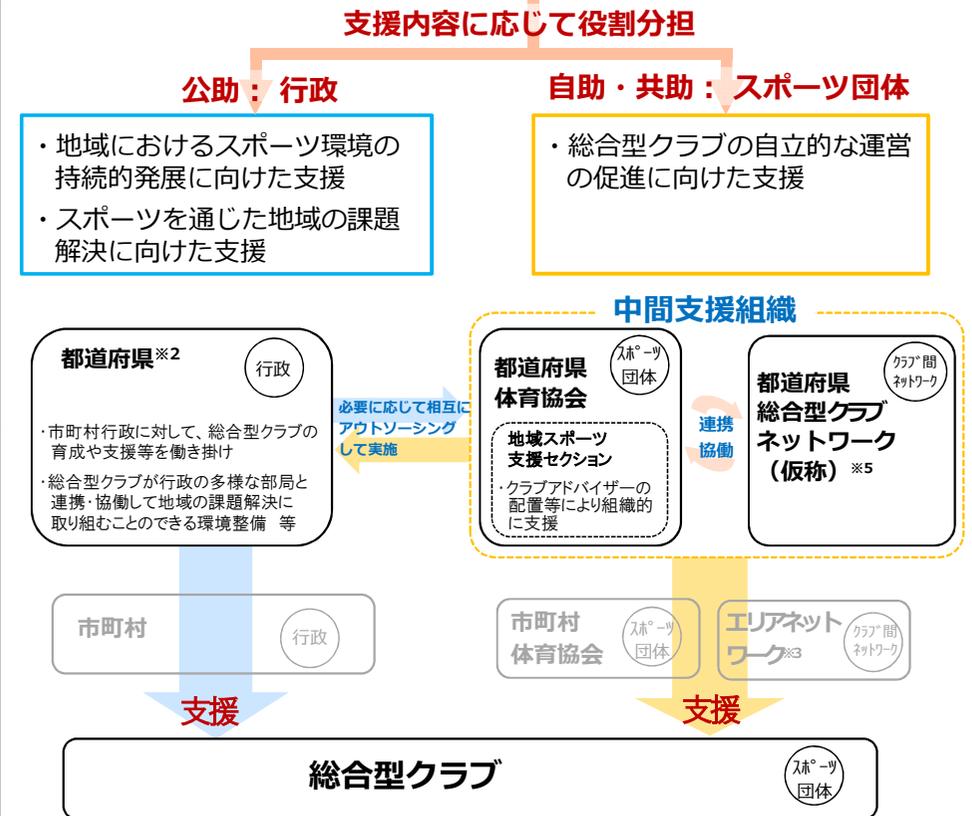
※1 総合型クラブの創設・育成に関する支援等以外の広域スポーツセンターの機能（③～⑥）については、今後とも、地域の実情に応じて、スポーツ関係組織・機関等で役割分担して担っていくことが重要。

※2 スポーツを主管する首長部局・教育委員会及びスポーツ振興事業団等の外郭団体を含む。

※3 地域の実情を踏まえ、必要に応じてボトムアップの形で構築される広域市町村圏・市町村単位のクラブ間ネットワーク

## ● 提言内容

✓ 総合型クラブへの支援について、全国的な支援体制をより効率的・効果的なものにするため、各支援主体の役割分担を明確化して再構築※4を図る。



※4 再構築に当たっては、現状の支援体制が、地域の実情に応じて構築されてきたものであることに配慮し、関係者で十分協議して合意形成を図るとともに、支援主体としての役割は明確にしつつ、支援の一部については、必要に応じて相互にアウトソーシングして実施するなど柔軟に取り組んでいくことが重要。

※5 都道府県総合型クラブ連絡協議会を基盤として組織体制等を充実・強化した組織

# 都道府県レベルでの総合型地域スポーツクラブへの支援体制の再構築②

## ● 提言における支援内容のポイント

### <行政：都道府県スポーツ主管部局>

#### 地域におけるスポーツ環境の持続的発展に向けた支援

- ✓ 総合型クラブが育成されていない市町村に対して、総合型クラブ育成を働き掛け
- ✓ 総合型クラブが育成されている市町村に対して、市町村における地方スポーツ推進計画の策定や総合型クラブに対する支援について働き掛け
- ✓ 総合型クラブ関係者と市町村の総合型クラブ担当者との相互理解と課題の共有等を促進するため、関係者が共に参加する研修会や会議等を開催

#### スポーツを通じた地域の課題解決に向けた支援

- ✓ 都道府県行政内部での連携体制を構築するとともに、市町村行政への働き掛けを行い、総合型クラブが市町村行政の多様な部局と連携・協働してスポーツを通じた地域課題の解決に取り組むことのできる環境を整備
- ✓ 総合型クラブを地域における多様な主体と連携・協働して地域の課題解決に向けた取組を担える主体として育成するため、地域課題解決に向けた取組の立ち上げ支援（トライアル・モデル事業の実施、資格取得などの人材育成、連携・協働関係の構築等）
- ✓ 都道府県内における先導的な取組を域内の市町村に横展開

### 参考事例：新潟県における取組

#### 市町村行政・総合型クラブ実務担当者合同研修会

従来、別々に開催していた市町村行政担当者会議と総合型クラブ実務担当者研修会を総合型クラブ連絡協議会からの提案により、平成23年度から合同開催。

合同研修会において、市町村行政と総合型クラブのそれぞれの視点からの意見交換等が行われ、顔の見える関係が構築されるとともに、課題の共有が図られている。

#### 総合型クラブ協働モデル事業、協働促進事業等

平成24年度、25年度に総合型クラブ協働促進事業を実施し、医療・健康福祉分野と協働して、住民の健康増進に取り組む総合型クラブを育成。

平成26年度に総合型クラブ協働モデル事業を実施し、医療・健康福祉分野との協働のノウハウを県内の他の総合型クラブに広げるために研修プログラムを実施するとともに、協働相手となる市町村の健康福祉部局等に対して協働モデル事業の成果等を普及・啓発。



### <スポーツ団体：中間支援組織>

#### 総合型クラブの自立的な運営の促進に向けた支援

- ✓ 都道府県体育協会がクラブアドバイザーを配置するなど組織的に総合型クラブの自立的な運営を促進するための支援を担うとともに、都道府県総合型クラブネットワーク（仮称）が自立的な運営を促進するために現場で必要とされる取組について事業提案を行い、両者が協力して実施
- ✓ 都道府県体育協会が、中間支援組織の役割を担っていくに当たっては、クラブアドバイザーを配置するだけでなく、各都道府県の実情に応じて、総合型クラブをはじめ地域スポーツを支援するセクションを設け、組織的に支援
- ✓ 都道府県体育協会の負担軽減や事業の効率的な実施の観点から、必要な範囲において、事業の実施を都道府県総合型クラブネットワーク（仮称）に委託

### 参考事例：埼玉県における取組

#### 県体育協会への複数のクラブアドバイザー等の配置

埼玉県では、(公財)埼玉県体育協会に常勤のクラブアドバイザー1名、非常勤のクラブアドバイザー1名、常勤のスポーツアシスタント1名の合計3名を配置し、総合型クラブに対する支援を実施。

#### クラブ間ネットワークによる提案型プロジェクト

平成26年3月に、埼玉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を発展される形で、(一社)彩の国SCネットワークを設立。埼玉県内の全88クラブが一般会員又は正会員となりネットワークを運営。

(一社)彩の国SCネットワークから(公財)埼玉県体育協会への提案型プロジェクトとして、以下の事業等を(一社)彩の国SCネットワークが主催して実施。

・ステップアップ研修会：

専門家を講師として、スタッフ・サポーター等の確保、税務・会計、人事・労務管理、ファンドレイジング等について学ぶ研修会

・クラブ経営塾プロジェクト：

クラブ経営者を講師として、収支予算書・月次収支レポート、事業戦略(中期事業計画)、地域行政との連携・協働、地域課題の解決等について学ぶ勉強会

